

# 育成センターだより

平成29年7・8・9月号  
No. 408  
長野市  
少年育成センター  
TEL. 228-8547  
FAX. 224-0109

『青少年の非行・被害防止全国強調月間』(7月)  
『青少年に有害な社会環境排除県民運動強化月間』(7月)

## 七・八・九月の育成活動

### 青少年の夏休みを元気に有意義に

県警の平成28年の少年非行の概況では、少年非行総数は7年連続減少し、昭和24年以降最小になりました。この成果の一つに地道な街頭指導、環境浄化活動が挙げられると思います。関係の皆さん、自信を持ってこの活動を行っていきましょう。

さて、子供たちにとって楽しい夏休みが迫ってきます。子供たちが自力で自分をコントロールできるように応援しましょう。

#### (全国強調月間7つの重点)

- ① 子供の性被害の防止
- ② インターネット利用に係わる非行・犯罪被害防止対策の推進
- ③ 有害環境への適切な対応
- ④ 薬物乱用対策の推進
- ⑤ 不良行為および初発型非行(犯罪)等の防止
- ⑥ 再非行(犯罪)防止
- ⑦ いじめ・暴力行為等の問題行動への対応

## 育成活動の重点

- 一 地域の現状や環境を知り、家庭・地域・学校が情報を共有しましょう。
- 二 賑やかな場所や時間帯を把握し、大人の目が届きにくい場所の巡回を積極的にいきましょう。
- 三 生活時間に気を配り、帰宅が遅い子、一人の子に愛の声かけを行いましょう。
- 四 JK(女子 高校生) ビジネス、援助交際などアンテナ高く張り、被害を防ぎましょう。



未来に大きな虹を

## 「ふつうのこと」とおかげさま

長野市教育委員会 教育次長 熊谷 久仁彦

ある小学校で、算数の学び合いをしている子どもたちと出会うことができました。

先生の「はじめようか。」の声にに応じて、当番の子どもたちが、「はじめの挨拶」をします。そして、問題を解き始めます。鉛筆の音が、教室中に響きわたります。少し時間がたつて、考えを発表し合います。考えのちがいが出てきて、感じたことを話し合います。いままでやってきたことを思い出したりしながら、考えていきます。そして、だんだん考えがまとまってきたところで、子どもたちの学びの時は終わりました。

ここまでの様子は、真新しいプロセスを経た学び合いでもなく、特別な教材を使うのでもなく、「ふつう」の学び合う姿でした。

しかし、そこには、子どもたちの

「友と学びたい。」

「もっと、わかるようになりたい。」

「私の言いたいことを、聞いてくれる友だちがいる。」

このような子どもたちの声なき声が、聞こえてきたように思いました。

きっと、「ふつう」のできごとが生まれるこの時まで、一人一人のリトルワールドを互いに交流し合うことを通して、心と心の出会い、そして、数限りないほどの交流が生まれ、この「ふつうのこと」が生まれたことを想像すると、あなたの声を聴くことと丁寧に応じ合う「おかげさま」の大事さ、そして、「おかげさま」のもつ力を感じました。

子どもたちの時と場は、教室だけではありません。子どもたちの生きる時と場すべてに、

「共に。」「もっと。」「私を。」そんな心の運びを大事にした「おかげさま」の働きで、「尊きふつうのこと」が生まれるのだと感じました。子どもたちのよりよく生きたいという心を大事に、これからも支援し続けていきましょう。

### 【学校の取り組みの紹介】

城山小学校 学校少年育成委員  
和 田 敦 教

本校の学校教育目標は「世界のひととなる」です。これは土岐善慶氏の作詞による校歌の一節から採ったものです。目指すところは大きく深く、世界に通用する一流の日本人となることですが、まずは、随所に主となる主体的な城山人(城山っ子)となることに向けて日々の教育活動を行っています。

本校では昨年度より信州型「ミニユニースワール」に沿い、地域から学校支援ボランティアを募って、地域の方々に積極的に学校づくりに関わっていただけるように働きかけています。子ども達が地域の方々とふれあうことを通して、社会での生き方を学んだり、地域への愛着や誇りをもったり、学ぶ楽しさを体感したりすることがねらいです。そしてこのことが主体的な城山っ子の育成に繋がるものと考えられています。

ボランティアの募集は、その活動を四つに分類して行われています。

- 一 安全支援(学校内外の環境をよくしていく活動)
  - ・ ・ ・ 安全パトロール、花壇整備等
- 二 学習補助(様々な学習の手伝い)
  - ・ ・ ・ 読み聞かせ、遠足等の補助付添等
  - ・ ・ ・ 環境改善(主に作る、直す活動)
  - ・ ・ ・ 大工仕事、ブランド整備等
- 四 学習支援(主に教える、支える活動)
  - ・ ・ ・ 菊や米作り、クラブ活動指導等

毎年十一月、全校の勤労活動として行っていた城山周辺の落ち葉清掃を、昨年からは地域の方と一緒に行うこととしました。クラブ活動では、善光寺木遣り保存会の皆様の指導による「木遣りクラブ」が発足しました。2年生では算数の九九検定に地域の方の協力をいただきました。他にも、昨年度だけで紹介出来ないくらい、地域の方々と触れ合う、大小様々な活動が生まれました。これまで学校だ

けで行ってきた活動に地域の方のお力を取り込んでいくことで、子どもたちの、地域に対する思いはより親密さを増してきているように思います。

また、ボランティアに参加していただいた皆様からは、「毎朝、見守り隊で、子どもたちの安全を守るために立っています。子どもたちの『おはようございます。』の挨拶で、心も温まります。」「子どもたちは、みんな自分の孫のよう。やりがいを感じています。」「等々の、やりがいや喜びの声を多数いただいています。そして本年度は、ボランティア登録がすでに八十名を超えています。

学校支援ボランティアの取り組みは、今、緒に就いたところです。今後これが更に発展し、「世界のひととなる」ために「城山のひととなる」、そのための確かな教育活動として根付いていけばと考えています。



地域の方と共に

### 【学校の取り組みの紹介】

長野女子高等学校 学校少年育成委員  
浦 中 大 介

本校では、建学の精神である「梅花不撓風雪(ばいかふうせつ)」を掲げ、清楚で気品ある白梅は生徒の理想像であり、本校の校章ともなっています。理想の実現に向け、本校の教育方針は、

○ 礼儀を重んじ、思いやりの心を持ち、女性らしい温

雅と清らかな心を培う。  
○ 自ら知識と技能を体得し、正しく広く真理を追究していく清新な姿勢と能力を養う。

○ 責任と義務を自覚し、思慮深い適切な判断で行動できる実践力を養う。

の3つです。重点的に行っている取り組みは、挨拶、清掃活動、ボランティア活動です。

挨拶について、朝の登校時、総務委員会を中心に、全校生徒に対して玄関で挨拶運動を行っています。始めは両者ともに動きや表情が硬かったが、継続していくと大きな声で挨拶ができたり、目を見て挨拶ができたり、挨拶が返ってきたり、徐々に成果が現れてきました。

清掃活動について、登校前の時間に行う朝清掃や放課後清掃、季節に応じて全校除草や落ち葉掃き、除雪作業など、担当を決めて行っていますが、除雪においては、担当でない生徒も自主的に多数加わり、作業を行っています。

ボランティア活動については、行政が夏を中心に行うボランティア活動に参加している。児童センターや保育園での子どものお世話、看護体験、介護施設やデイケア等、様々な職種から選り、活動での交流を行っています。ボランティアの最中や終わった後は、顔つきが変わったように見え、人間的に成長した様子がみられました。

生徒数や教員数が少ないため、担任だけが自分のクラスをみるのではなく、全教員が全生徒を見ている態勢をとっています。また、分掌だけの会議を行わず、職員会が部会を兼ねています。学年の様子や進路、生徒指導、予定の確認など、全てを職員会で伺い、校長を含めた全教員の判断で確認・決定など情報共有をしています。

生徒指導が難しい時代、生徒の成長を学校だけでみるのではなく、ご家庭や地域と連携し、成長を促していくことが重要です。小さな問題でもご家庭と情報を共有し、社会に出て自ら判断して行動できるように指導していきたいと思っています。

# 「つながり」

長野市PTA連合会

会長 大矢 洋 丈

先ずは少年育センターの皆様、長野市民の皆様には日頃から長野市PTA連合会の活動にご理解、ご協力いただいておりますこと、また、地域における青少年健全育成にご尽力いただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

長野市PTA連合会では、保護者と教師が相互に協力しながら学校や家庭、地域における子ども達の健全育成について学び合い、社会活動を通じて子ども達の豊かな学びを支えています。また、学習環境の改善や子ども達の基本的な生活習慣の習得など、これからの時代を生きる子ども達の「生きる力」を育む家庭教育の充実や、バランスのとれた総合的な学習支援にも取り組んでいます。しかし、時代の変化と共に家族のあり方や生活スタイルにも変化が見られ、共働き家庭の増加や習い事による子ども達の多忙化など、家族が一緒に過ごす「団欒」の時間や親子が「ふれあう」時間は減少しています。5月5日の端午の節句は「子どもの日」です。1948年に「子供の人格を重んじ、子どもの幸福をはかると共に、母に感謝する」ことを趣旨として制定されました。現在では、子どもの成長を願いつつも特別扱いする日のような傾向にあります。親は子どもに愛情を注ぎ、子は親の愛情を感じて感謝する、お互いに寄り添いながら親子の絆を確認する「ことを教育の原点とし、家族の「つながり」を深められるよう、努力したいと思えます。一方で、現代の教育には、社会の理解と協力が不可欠な時代となりました。通学路の安全確保や育成会による地域行事など校外における様々な「つながり」を通じて子ども達は社会性を育み、人の「優しさ」や「温もり」を感じながら成長しています。

長野市PTA連合会では、「長野市大人と子どもの心得八か条」を作成し、学校・家庭・地域で子ども達を育

む活動に取り組んでいます。今年度は社会全体が子ども達との「つながり」を大切にし、教育への調和をとりながら支え合う取り組みを「和ころ」としてスローガンに掲げ、健全育成に努めております。今後ともご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



教育懇談会での熟議  
市PTA連合と校長会の合同で

## 【性にまつわる話し】

～青少年に伝えたいこと～

長野市保健所健康課

根津 洋子

みなさんは、若者に増えている「デートDV」という言葉を聞いたことがありますか？DVはパートナーから受ける暴力のことですが、結婚している夫婦間の事柄だけではないのです。「デートDV」と言って、付き合っている彼・彼女の間にもある事柄なのです。相手の行動を逐一チェックし「束縛」する、携帯メールを勝手に見る、返信が遅いと文句を吐く、といったこともDVに含まれます。「本当に人を好きになる」ということは、相手を自分の思い通りにしたり、相手の気持ちをコントロールしてしまうということではありません。それは、相手の自由を奪う人権侵害です。もし、そんなことをされたら、本当の愛情ではないんだな、と

見抜きましょう。

日々、暴力にさらされると「自分が愛されているからこんな仕打ちを受けるんだ」「自分がいけないから暴力を受けるんだ」という気持ちになってしまうがちです。また、自分がDV被害にあっていると気付いていないことも多いです。自分も相手も大事に尊重しあえる対等な関係を築いてほしいと思います。

さて、話は変わりますが、性感染症の中で最も多いのが、クラミジア感染症です。性行動の低年齢化により15歳頃から急増します。また最近では女性の梅毒も急増しています。性感染症は、自覚症状が無くても病気が進行し、気がつかないうちに他の人に感染を広げていきます。また感染を知らずに放置しておくと、男女共に不妊症の原因になります。

感染しているかどうかは血液検査でわかります。長野市保健所では、HIV/性感染症の相談・検査を実施しております。詳しくは、エイズホットラインまでお問い合わせください。

一度の性行為でも自分の人生に関係してくることが起こることもあります。性は生きることと深くつながっています。性という字は、生きるための心と書きます。性について知ることとは、単に体の変化や男女の性行動の話だけではありません。性教育は、生きるための心の学習です。決していやらしい話ではありません。

ぜひ自分の体と心を守る正しい知識を身につけてほしいと思います。もし困っていることがあれば、ひとりで悩まず信頼できる人に相談するよう伝えて下さい。市保健所では、性の出前講座・広報・ホームページ等でHIV/性感染症予防等の啓発活動を実施しています。青少年の健全育成活動に携わっていただいている皆様にもご理解いただき、今後も一人ひとりの心に寄り添った御支援をよろしくお願いいたします。

エイズホットライン(予約・相談専用電話)

2226-9966



# 【今年の専門委員委嘱式】

去る5月22日(月)少年育成センターにおきまして、小中高から選出いただきました7名の先生に、家庭・地域学びの課長より少年相談専門委員の委嘱がされました。

少年相談の具体事例に学び合い、各関係機関との有効な連携のあり方につきましても研究していきます。現場に生きる活動ができればと期待しております。

- ◎委員長 宮崎 秀文(篠ノ井東小学校)
- 副委員長 森 崇 (北部中学校)
- 委員 松浦 智子(豊野東小学校)
- 委員 雪入 哲也(裾花小学校)
- 委員 富田 美咲(川中島中学校)
- 委員 久保 秀史(篠ノ井東中学校)
- 委員 松村 勅幸(市立長野高校)

【敬称略】



一人ひとりに課長より委嘱委員の先生にも子どもたちにとっても実り多い一年

# 【二日少年のスタート】

今年も六月三日(土)に第一回目の街頭指導を小中高のPTAの皆様にご体験していただきました。一日少年育成委員として街頭指導等を体験していただき、青少年を取り巻く有害環境や問題行動の実態を把握して、非行防止に対する関心を高めていただくことが目的です。

(感想①) コンビニ、貸スタジオ、ゲームセンター、地下通路など知らなかったのが驚きました。長野にも時間をつぶせ遊べる場所があるんだなあ。誘惑が多い中、日頃環境浄化、巡回指導していただきありがたいです。戻ったら他のみなさんに伝達したいです。

(感想②) コンビニの成人向け雑誌やアルコール類を別陳列し標示もされており、お店も協力してくれているのだなとわかりました。行く先々で、子供たちが腕章を見て意識していたので、よい抑止力になっているのだなと思いました。



街頭指導を終えて感想を語り合う「子どもたちを取り巻く環境が見えてきました」

# 知っていますか? 『JKビジネス』

援交は援助交際、JKは女子高生のこと。JKビジネスとは、女子高生の制服を着たサービスを売りにした商売です。約10年ほど前に東京の秋葉原でメイド喫茶にかわる業態として出現してから、JKリフレ(マツサージ)、JK撮影会、JK見学会、JKお散歩などと形を変えてきています。

女子高生を使った密着感のあるサービスがエスカレートしていく危険性がある商売です。児童福祉法違反、児童ポルノ法違反で摘発された例があり、従業員である少女達も、他のアルバイトと比較して手軽に大金を稼げるという言葉に誘われています。

JKビジネスの名のもとに、トラブルや事件に発展し被害に遭うなど大変心配されます。今後、アンテナを一層高くし、情報を共有して横の繋がりを強め、青少年の健全育成に努めていきたいと思います。



「JKビジネス」は手軽なバイトではなく、危険なバイトです。絶対に働いてはダメ!!

## 困ったら……(困る前に)

### 【青少年の相談は】

Tel 2288-8588 (直通)  
月～金曜日、8:30～17:15

匿名で結構です。

来所の相談にも応じています。